

持続可能な社会を実現するための
京都市立紫野高等学校・環境宣言

基本理念

京都市立紫野高等学校は、「持続可能な都市文明の構築を目指す京都宣言」を踏まえ、私たちと将来世代に向けた地球環境保全の重要性を認識し、環境を大切にする学校づくりを積極的に進めるとともに、生活のすべての場面で実践する力を育みます。

方針

山紫水明の自然と歴史に恵まれた素晴らしい環境のもとで学習活動を行っていることを十分に認識するとともに、ユネスコスクールの一員であることを最大限に生かし、ESD (Education for Sustainable Development) にかかる活動を推進し、様々な問題を自分自身の問題として捉え、自ら行動し、持続可能な社会を構築する「担い手」の育成に取り組みます。

1 持続可能な社会を目指す教育活動の推進

- (1) 総合的な学習の時間を中心として、SDGs (Sustainable Development Goals) をテーマに生徒が主体的に課題を見つけ、学び、解決する資質や能力を培い、持続可能な社会の構築へ向けた教育活動を展開します。
- (2) 「21世紀を自分で歩く国際人」を育成する教育目標を踏まえ、環境に関わる諸課題に対しても、グローバルな視点とローカルな活動の両面から、自ら考え行動できる教育を推進します。

2 環境教育の推進

- (1) 環境教育の組織的・計画的な推進に取り組みます。
- (2) 省エネルギー・省資源活動、自然と共生を図る取組、循環型社会の実施に向けた活動の推進に取り組みます。

3 地域・関係団体と一体となった環境活動の展開

- (1) この環境宣言の趣旨を全教職員・生徒が認識するとともに、一人一人が生活のすべての場面で環境改善活動を積極的に実践し、地域や関係団体とも連携して取り組みます。
- (2) 歴史都市京都を身近に感じる環境にある学校立地を踏まえ、地域で行われる美化活動や環境保全に向けた取組にも積極的に参加します。

平成30年 6月 1日
京都市立紫野高等学校
校長 吉田 明弘